

# 産業連携交流都市スウェーデン王国 シエレフテオ市等を訪問して

秩父市議会議長 内田 修 司

平成19年3月に、本市と「産業連携交流協定」を締結したスウェーデン王国シエレフテオ市などを、昨年11月2日から8日までの7日間の日程で訪問した。この協定により交流実行委員会は、毎年開催することとなっており、昨年度は、シエレフテオ市からの訪問団を当市に迎え、委員会を開催したことから、本年度はシエレフテオ市での開催となった。

このため、市長を団長に、議長を副団長として、また市内の企業技術視察員3名ほか合計7名で官民合同の訪問団が組織された。

- 1 農林業振興施策の先進事例
  - 2 環境施策の先進事例
  - 3 現地企業の技術動向の調査
  - 4 少子高齢化対策の先進事例
  - 5 交流事業、産業連携交流協定の推進
  - 6 バイオマス活用事業
- の6項目について視察した。
- シエレフテオ市では、市長、議長を始め市議会議員らが出席し、持続可能な社会の構築と両市の経済発展のために必要な産業や技術、地方自治分野における交流や連携事業に関する情報交換を行った。

シエレフテオ市は北極圏近くに位置する人口7万2千人の都市であり、気候は違うものの、人口規模や森林が豊富な点などは秩父市と類似している。今回の訪問で特に印象に残ったのは、木造の高層住宅や木橋など、木材の用途を広げるために産学官協同による技術開発が盛んに行われており、それに対する行政の支援体制がしっかりとれていることであった。また、用材として利用できない部分を木質バイオマスとして暖房燃料やペレットの生産に使い、木材が持つエネルギーを余すことなく利用していることには感心した。

視察内容のすべてを紹介することはできないが、今回の視察は、大変実り多い、有意義なものであった。特に林業振興、福祉、環境の各対策は、自治体主導により取り組むことが必要と考えるが、とりわけ産業の発展については、産業界と行政が強い協力関係を持ちながら、地域経済の活性化に取り組むことが市の財政基盤の強化につながり、住民福祉の向上の原動力となることを再確認した。そういった意味からも、今回の公式訪問は、官民双方にとって、大変意義あるものとなった。



ヴェステルボッテン県庁にて 県知事らと意見交換

## お知らせ

秩父市議会だよりは、次号（平成22年5月発行号）より、市報と分冊して発行する予定です。

皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

## 編集後記

平成21年の世相を漢字一文字で表す、「今年の漢字」に「新」が選ばれた。ちなみに20年は「変」であった。

振り返ってみると、この議会だよりも近年ずいぶん「変」って「新」しくなった気がする。「見やすい」「読みやすい」議会だよりの編集に心がけ、従来の5段組を4段組に変え、一般質問の記事を、質問者を明らかにして掲載する形式に変えた。様々な紆余曲折を経ながらも、これらの変革を成し得た要因の一つには、平成18年の選挙後各党派から選ばれた編集委員の多くが「新」人議員であったことも挙げられる気がする。

私たちの任期もあとわずかとなった、来年度からは市報との分冊発行も決まっている。更に「見やすい」「読みやすい」議会だよりとして成長することを心から願って筆を擱く。

## 編集委員

平成21年12月 斎藤 捷 栄 記

- |      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 斎藤 捷 栄 |
| 副委員長 | 坂本 文 雄 |
| 委員   | 新井 重 一 |
| 委員   | 富田 恵 子 |
| 委員   | 新井 豪 功 |
| 委員   | 荒船 功   |